

Casting  Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ



Financial Report

第90期中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



Ahresty

株式会社 アーレスティ

証券コード：5852



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research(研究・開発)、Service(サービス)、Technology(技術)において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、「Casting」は、「投げかける」という意味の他に、当社の主要事業である「Die Casting」の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

(a:resti)

これからは、より質の高い
Research, Service, Technologyを
追求していきます。

アーレスティはR・S・T、Research、Service、
Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、
Rは単に研究・開発だけでなく、
どうしたらもっとお客様のお役にたてるかの創意と探求、
Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、
お客様とのすべての接点で、
そしてTはこのRとSをささえる知識と
技術を考えています。
この社名に込められた企業理念を大切に生かし、
様々な製品を通して、
広く社会のお役に立ちたいと願っております。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営基本方針	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
事業の概況	5
事業別の概況	6
四半期連結財務諸表	7~8
トピックス	9
株式情報・会社の概要	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、第90期第2四半期(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいります所存です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



代表取締役社長

高橋 新

経営
基本方針

常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

(1) 経営の基本方針

当社の社名アーレスティは、ResearchのR、ServiceのS、TechnologyのTを続けて読んだものであります。Researchとは絶えることのない新技術・新市場・新しい販売方法の開発・研究調査、Serviceとは人と人とのふれあいのなかで本当に行き届いた温かいサービス、Technologyとは世の中に役立つ真によいものをハードとソフトも含めて創ってゆく技術を意味します。このRとSとTは、お互いに深く支え合いながら、お互いをよりすばらしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。私たちは、このような考えのもとにResearch、Service、Technologyを統合した思想を企業理念として「アーレスティ」を社名としております。

当社の長期的な経営の方向性を示した「アーレスティ10年ビジョン」では「『すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業』をめざす」ことを基本の方針とし、顧客・株主/投資家・従業員・取引先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるためにはどうすべきかという観点であるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。この10年ビジョンをベースに中期経営方針（1012 3ヵ年アーレスティ方針）では、より具体的な施策・目標値を設定し、更に部門方針へと展開して全社的な活動を推進しております。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとする全てのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ

子会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

環境方針

かけがえのない地球を守るのは私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地域環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
- 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
- 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
 - ①大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 - ②廃棄物の再資源化100%を維持します。
 - ③廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 - ④CO₂排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 - ⑤環境に配慮した製品および商品の開発・設計に取組みます。
- 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的にを行います。
- 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします～

事業の概況

■企業集団の事業の経過および成果

当第2四半期（6ヶ月）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調であったものの、円高の進行および海外経済の減速による輸出の弱含みや6月以降の鋳工業生産の減少等により回復ペースは鈍化しています。海外においては、米国では失業率の高止まりや個人消費の伸び悩み等のリスクはあるものの、景気は緩やかな回復基調となりました。中国およびインドでは内需を中心とした緩やかな景気拡大の動きとなりました。

このような環境の中で、当第2四半期の業績は、売上高49,146百万円（前年同期比51.9%増）、営業利益2,304百万円（前年同期は営業損失1,376百万円）、経常利益2,159百万円（前年同期は経常損失1,426百万円）、四半期純利益1,755百万円（前年同期は四半期純損失1,312百万円）と増収増益になりました。

■事業別売上の状況



ダイカスト	46,462百万円
アルミニウム	1,792百万円
完成品	891百万円

■業績の推移（連結）

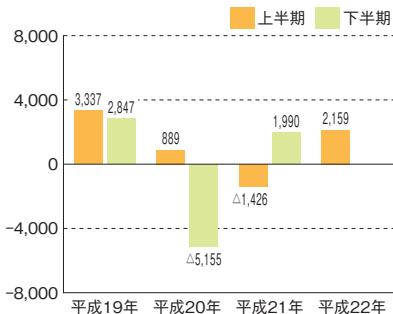
■営業利益

(単位:百万円)



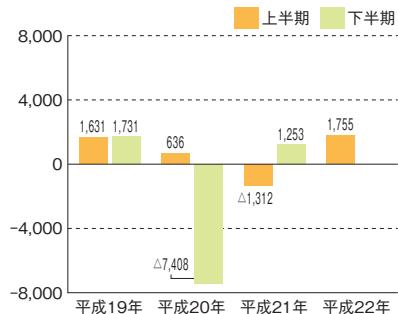
■経常利益

(単位:百万円)



■四半期純利益

(単位:百万円)



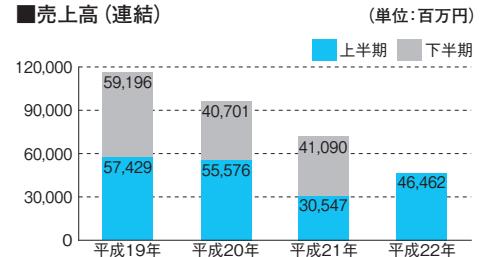
事業別の概況

ダイカスト事業

国内では、主要販売先である自動車業界において、エコカー減税および補助金等の政策効果により、国内の新車販売が好調でした。また新興国および北米向けの輸出も堅調に推移しました。これらの影響を受けて、当社においても受注が増加し、売上高は33,556百万円となりました。収益面においては、増収・増産効果に加え、原価低減活動を推し進めたことにより、国内セグメント利益は1,146百万円となりました。

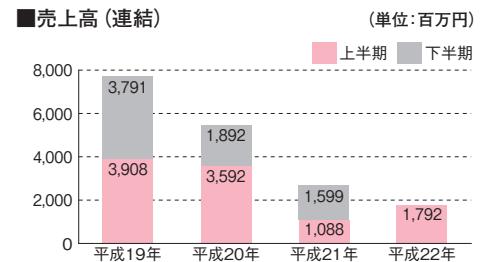
北米では、自動車販売が回復基調にある中で、主要顧客からの受注も回復傾向にあり、メキシコでの新規顧客への部品供給も始まったことにより、売上高は7,760百万円となりました。収益面においては、増収・増産効果、原価低減活動を推し進めたことにより、北米セグメント利益は740百万円となりました。

中国では、政府の購入支援策等により主要顧客である自動車メーカーの販売が好調であったことから、当社においても受注が高水準で推移しました。インドでも同様に受注が増加したことに加え、新規顧客への部品供給も始まったことにより、売上高は5,146百万円となりました。収益面においては、主に増収・増産効果により、アジアセグメント利益は477百万円となりました。



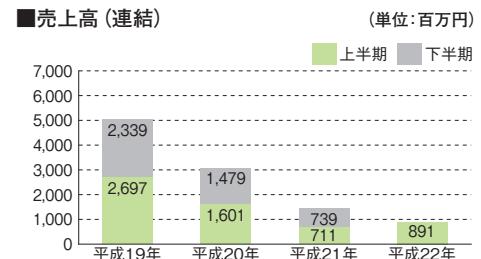
アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、二次合金地金の出荷量が前年同期比で6.2%増となり、売上高は1,792百万円となりました。収益面においては、販売重量がピーク時と比べ依然6割程度の低水準であることや原材料高の影響があったものの、原価低減活動を推し進めたことにより、セグメント利益は8百万円となりました。



完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業の設備投資は依然として低水準で推移したものの、主に通信会社のデータセンター向けの受注を獲得した結果、売上高は891百万円となりました。収益面においては、増収効果によりセグメント利益は27百万円となりました。



四半期連結財務諸表

Consolidated Quarterly Financial Statements

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在	科 目	当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	38,901	34,472	流 動 負 債	36,845	29,650
現 金 及 び 預 金	6,882	5,267	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	18,010	15,059
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	22,586	20,246	短 期 借 入 金	3,298	2,942
商 品 及 び 製 品	2,109	1,732	1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	6,115	6,045
仕 掛 品	2,801	2,792	未 払 法 人 税 等	348	98
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	2,709	2,353	賞 与 引 当 金	1,310	1,147
そ の 他	1,816	2,083	役 員 賞 与 引 当 金	1	1
貸 倒 引 当 金	△ 4	△ 3	そ の 他	7,761	4,356
			固 定 負 債	20,506	23,077
固 定 資 産	53,924	53,505	長 期 借 入 金	13,248	15,424
有 形 固 定 資 産	47,169	46,228	退 職 給 付 引 当 金	3,485	3,485
建 物 及 び 構 築 物（純額）	9,555	10,047	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	122	122
機 械 装 置 及 び 運 搬 具（純額）	21,776	20,714	負 の の れ ん	109	165
土 地	5,779	5,803	そ の 他	3,541	3,879
建 設 仮 勘 定	6,443	6,098	負 債 合 計	57,352	52,728
そ の 他（純額）	3,614	3,564	純 資 産 の 部		
無 形 固 定 資 産	576	620	株 主 資 本	38,469	36,822
投 資 そ の 他 の 資 産	6,178	6,656	資 本 金	5,117	5,117
投 資 有 価 証 券	5,714	6,131	資 本 剰 余 金	8,363	8,363
そ の 他	464	526	利 益 剰 余 金	25,346	23,698
貸 倒 引 当 金	△ 1	△ 2	自 己 株 式	△ 358	△ 358
			評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 3,078	△ 1,640
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,451	1,795
			為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 4,529	△ 3,435
			新 株 予 約 権	81	67
資 産 合 計	92,825	87,977	純 資 産 合 計	35,472	35,249
			負 債 純 資 産 合 計	92,825	87,977

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	49,146	32,346
売上原価	42,324	29,820
売上総利益	6,821	2,526
販売費及び一般管理費	4,517	3,902
営業利益又は営業損失(△)	2,304	△ 1,376
営業外収益	251	289
受取利息	5	6
受取配当金	45	36
負のれん償却額	55	151
その他	145	95
営業外費用	395	339
支払利息	251	234
為替差損	112	62
その他	32	41
経常利益又は経常損失(△)	2,159	△ 1,426
特別利益	143	2
固定資産売却益	2	0
貸倒引当金戻入額	-	2
退職給付制度改定益	141	-
特別損失	100	74
固定資産除売却損	51	46
損害賠償金	-	26
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	48	-
その他	-	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,202	△ 1,497
法人税、住民税及び事業税	420	60
法人税等調整額	26	△ 245
法人税等合計	446	△ 185
少数株主損益調整前四半期純利益	1,755	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,755	△ 1,312

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,377	3,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,115	△ 5,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,472	909
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 174	73
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,615	△ 643
現金及び現金同等物の期首残高	5,267	7,274
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,882	6,631

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

合肥阿雷斯提汽车配件有限公司 設立、工場建設

中国では広東省にある広州阿雷斯提汽车配件有限公司がダイカスト生産拠点として中国国内の自動車メーカー並びに自動車部品メーカーにダイカスト製品を供給してまいりましたが、中国市場の旺盛な需要に柔軟に対応し、当社のグローバル競争力を一層強化するため、中国における生産の2拠点目として合肥阿雷斯提汽车配件有限公司（合肥アーレスティ）を2010年8月10日に設立いたしました。また、同年9月に工場建設に着手し、2011年7月に生産開始の予定であります。今後、中国市場の拡大および中国での新規顧客獲得により、日本国内の生産拠点と並び収益の柱となるべく成長してまいります。



合肥アーレスティ 工場完成予想図

会社の概要

敷地面積	30,000㎡
建物面積	6,650㎡（2011年4月竣工予定）
設備	ダイカストマシン 2500トン 2台（2011年7月、9月逐次量産開始予定） 1650トン 1台（2012年3月量産開始予定）
所在地	中華人民共和国 安徽省合肥市経済技術開発区
代表者	松下 秀之
設立時資本金	8,800,000米ドル
出資比率	当社100%
事業内容	ダイカスト製品の製造、販売
生産開始	2011年7月（予定）
販売計画	23億円（2012年度の見込み）
投資額	20億円（2012年度までの予定）



第一期工場建築の鋤入れ式
（2010年9月13日）



合肥市政府・合肥経済技術開発区/アーレスティ
投資協議書調印式（2010年7月2日）

株式情報・会社の概要

Stock Information・Corporate Information

■株式状況 (平成22年9月30日現在)

● 株式数および株主数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	21,778,220株
株主数	4,384名

■大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,032	4.7
高橋 新	915	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	809	3.7
(株)三菱東京UFJ銀行	765	3.5
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	746	3.4
本田技研工業(株)	672	3.1
日本軽金属(株)	657	3.0
モルガンスタンレー・アンド・カンパニー・インク	625	2.9
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH - CLIENT ACCOUNT	597	2.7
ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・ジェネラル・インベスメント・アドバイザーズ	589	2.7

(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示してあります。

2. 持株比率は自己株式(238,340株)を控除して計算してあります。

■会社概要 (平成22年9月30日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	51億1,759万円
従業員数 (単独)	984名
企業集団の従業員の状況	
	従業員数
ダイカスト事業	4,729名
アルミニウム事業	51名
完成品事業	29名
全社 (共通)	209名
計	5,018名

取締役および監査役 (平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	高 橋	新 旭
取締役	小 木	一 禎
取締役	林	一 茂
取締役	古 屋	博
取締役	石 丸	一 忠
社外取締役	宮 内	勉
常勤監査役	熊 木	康 夫
常勤監査役	見 目	唯 夫
社外監査役	早 乙 女	昭 彦
社外監査役	志 藤	

■事業拠点一覧 (平成22年9月30日現在)

当社本社・工場		
名 称	所 在 地	
本社	〒164-0011	東京都中野区中央1-38-1
東松山工場	〒335-0812	埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
熊谷工場	〒360-8543	埼玉県熊谷市御稜ヶ原284-11
浜松工場	〒433-8520	静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
豊橋工場	〒441-3153	愛知県豊橋市二川町字東向山80番地
テクニカルセンター	〒441-3114	愛知県豊橋市三弥町中原1-2

当社営業所		
名 称	所 在 地	
関東営業所	〒164-0011	東京都中野区中央1-38-1
浜松営業所	〒433-8520	静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
大阪・関西営業所	〒564-0062	大阪府吹田市垂水町3-23-26
厚木営業所	〒243-0014	神奈川県厚木市旭町5-43-14
栃木営業所	〒321-0215	栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
名古屋営業所	〒446-0054	愛知県安城市三河安城本町2-11-7
熊本営業所	〒869-0521	熊本県宇城市松橋町浦川内36

子会社		
名 称	所 在 地	
(株)アーレスティ栃木	〒321-0215	栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
(株)アーレスティ熊本	〒869-0521	熊本県宇城市松橋町浦川内36
(株)アーレスティ山形	〒992-0832	山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65
(株)アーレスティ ダイモールド浜松	〒431-1104	静岡県浜松市西区桜台5-3-10
アーレスティ ウイلمントンCORP.	2627 S.South Street,	Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.
広州阿雷斯提汽車 配件有限公司	中華人民共和国広東省広州経済技術開発区永和経済区 新豊路7号	
アーレスティメヒカーナ S.A. de C.V	Calle Industria Automotriz #20 Complejo de Naves Industriales la Zacatecana Guadalupe, Zacatecas C.P.98600, Mexico, D.F.	
アーレスティインディア Private Limited	Plot No. 194, Sector 4, Growth Centre Bawal, Dist. Rewari, Haryana PIN 123401, India	

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ahresty.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



当社ホームページ
<http://www.ahresty.co.jp/>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様様に最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

Research Service Technology

株式会社 **ア-レスティ**

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F
TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037
URL: <http://www.ahresty.co.jp>



ISO14001:2004認証取得

本社、浜松工場、東松山工場、
熊谷工場、豊橋工場、
テクニカルセンター、
株式会社ア-レスティ栃木、
株式会社ア-レスティ熊本、
株式会社ア-レスティ山形



ISO9001:2000認証取得

JUSE-RA-053
本社(但し、商品営業部を除く)、
浜松工場(但し、海外支援室を除く)、東松山工場、
豊橋工場、熊谷工場、技術部、
株式会社ア-レスティ栃木、
株式会社ア-レスティ熊本、
株式会社ア-レスティ山形
JUSE-RA-057
商品営業部及び関連組織

